

おばま 市議会だより

No. 186

市街地を一望できる
議場見学ツアーの
参加者を募集中！

おばまチケットの配布など 12月補正予算を可決
議会報告会を開催

議場見学ツアーの詳細は9ページをご覧ください

くまなくチェック 委員会審査



■ 可決した 12 月補正予算

会計名	既決予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	179 億 1,540 万円	6 億 1,793 万円	185 億 3,333 万円
特別会計	73 億 9,317 万円	2,111 万円	74 億 1,428 万円
企業会計	48 億 5,851 万円	1,149 万円	48 億 7,001 万円
合計	301 億 6,708 万円	6 億 5,053 万円	308 億 1,761 万円

端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

市民 1 人当たり 1 万円分のおばまチケットを配布するための経費などが盛り込まれた 12 月補正予算案を可決しました。
審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

12 月補正予算の審査



配布を予定しているおばまチケット

pick up

物価高騰対策 生活者応援事業 3 億 993 万 3,000 円

物価高騰の影響を受けている市民の経済的負担を軽減するとともに、市内での消費を促すため、1 人当たり 1 万円分のおばまチケットを市民全員に配布するもの。

▶ 配布対象者

令和 8 年 1 月 1 日に本市に住民登録をしている人

▶ 配布方法

世帯主宛てにゆうパックで送付

▶ 配布時期

令和 8 年 2 月中に送付完了の予定

▶ チケットの有効期限

令和 8 年 7 月 31 日 (金)

※事業の内容は、やむを得ず変更される場合があります

問

おばまチケットを配布することとした理由と、チケットの印刷代や郵便料などの事務経費の額は妥当か。

答

おばまチケットを選択したのは、市内での消費を促すとともに、市民になじみのある手段として適当であると判断したためである。事務経費については一定程度の額は必要になるが、その額をできるだけ抑えるよう、十分な検討を行う。



選挙事務経費（知事）

942万5000円

説明

令和8年1月25日に投票票が予定されている福井県知事選挙に係る事務経費を計上するもの。

問

投票日の前日と前々日に今回新たに開設する健康管理センターの期日前投票所について、詳細な運用方法等は。

答

近年の状況を見ると、市役所に設けている期日前投票所は投票日の直前の数日間が非常に混雑する。それを解消するため、試行的に2カ所目を開設するものであり、選挙人の住所に関係なく、どちらの期日前投票所でも投票できるように運用する予定をしている。2カ所で同時に開設するためには、使用するシステムの回線に確実に接続する必要があることから、それが可能な健康管理センターを会場に選定した。

次回以降の期日前投票所の開設については、今回の結果を検証した上で判断する。

有害鳥獣侵入防止総合対策事業

177万8000円

説明

有害鳥獣による農作物被害を軽減するため、金網柵等の原材料の支給や設置にかかる費用の補助

を行う事業において、国庫補助金の追加内示等により増額するもの。

問

現物支給を受けても、人口減少や高齢化のために施工できない地域があると考えられるが、今回の支給対象地域ではどのような体制で施工するのか。

答

対象地域では地域住民等によって自力で施工される予定だが、それが困難な地域が存在していることは認識している。自力での施工が困難な場合には業者の施工による設置も可能だが、その場合は区などに費用の2割を負担いただくこととしている。

小浜の体験観光スタートアップ支援事業補助金

30万円

説明

海洋プラスチックごみの回収や座学等に加え、キーホルダーやアクセサリ等の製作を体験することができる観光プログラムを開発する事業者に對する補助金を新たに追加するもの。



このようなアクセサリの製作を体験することができる

問

体験観光プログラムの開始時期、実施場所は。

答

事業者からは令和8年3月ごろからプログラムを実施することができるよう準備を整えたいとの意向を聞いている。海岸で海洋ごみを回収した後、製作体験については廃棄した民宿の建物を活用する予定であると聞いている。

条例の審査

御食国若狭おばま食文化館の設置および管理に関する条例の一部改正について

説明

御食国若狭おばま食文化館の管理運営費等の増加に対応するため、使用料上限額の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行うもの。

問

濱の湯の入浴料について、大人1回当たりの上限額を650円から800円に変更することとあるが、市民の割引等を検討しているか。

答

この条例では上限額を800円と規定するが、実際の運用では700円に設定する予定としている。今後、上限800円の範囲内でさらに値上げをしようとする場合には、市民の負担を軽減する方策を検討する。

市政を問う！一般質問

令和7年第4回(12月)小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
佐野 達也	1. 食文化を活かした観光振興について 2. 史跡後瀬山城跡整備事業について	牧岡 輝雄	1. 子どもの貧困の解消に向けた対策 2. ひとり暮らし高齢者への物価高騰対策
上野 一	1. 農業・農村政策の新たな展開について 2. ツキノワグマの出没対策について	池田 英之	1. 事業のビルド・アンド・スクラップについて 2. JR小浜線の利用促進について 3. AED(自動体外式除細動器)について
世戸 玉枝	1. 原発周辺自治体の同意権について 2. 住民との対話について 3. 国民健康保険について 4. 会計年度任用職員の待遇改善について	浦谷 梨華子	1. 安心して利用できる産後ケアの体制づくり
武長 由里子	1. ふるさと納税について 2. 産後ケアについて	東野 浩和	1. 住宅密集地火災に備えた体制整備について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています
二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧になれます

食文化を生かした観光振興について

問 小浜の観光ブランドは食・食文化に集約されると思うが、その見解について伺う。

答 各種団体との意見交換等で、食と食文化を小浜の強みとして捉える意見を非常に多く伺っており、市民の実感としても、本市の強みは食と食文化にあることが改めて確認できている。今後の観光分野の情報発信においては、食と食文化の価値が観光客に魅力的に映るよう発信していくことを柱とする。

地域の価値を的確に伝える戦略的な情報発信を進めるためには、民間のプロフェッショナルなノウハウを導入することが重要であると考えており、外部から専門人材を招き、メディアや消費者に選ばれる情報発信や滞在コンテンツの造成を進めてまいりたい。

問 国史跡後瀬山城跡整備事業の事業規模や工期など、今後のスケジュールについて伺う。

答 事業規模は、実施設計などの設計費用と、敷地造成から堀の復元、駐車場の整備などの費用を合わせ、現時点で約6億円から7億円を見込んでいます。今後のスケジュールについては、補助金等の関係により見通しを立てにくいところではあるが、来年度から約6年間で、令和13年度中の完成を目標としている。



さの たつや
佐野 達也



クマ人的被害最多！緊急銃猟制度施行！

問 ツキノワグマが東北地方を中心に出没し、人身被害が異常に多く発生している。福井県内および小浜市におけるツキノワグマの出没状況について伺う。

答 福井県内のツキノワグマの出没状況は、令和4年度が314件、5年度が766件、6年度が897件で、小浜市内では4年度が43件、5年度が23件、6年度が80件であった。6年度のうち最も出没が多かった地区は、口名田が22件、次いで中名田が20件、松永が13件、遠敷が12件、今富と加斗が5件ずつ、内外海地区が3件で、その他の地区では出没の情報はない。今年度については、11月現在で35件の出没があったが、昨年度と比較して半減している。

問 政府は鳥獣保護管理法の一部改正案を閣議決定し、一定の条件の下での市街地におけるクマの緊急銃猟が可能となった。小浜市の緊急銃猟の体制について伺う。

答 小浜市においても、緊急銃猟を実施する可能性がないとはいえない。このため、令和7年10月に福井県が南越前町で実施したクマ出没対応緊急銃猟訓練に、福井県猟友会小浜支部長と市の担当職員も参加した。現在は緊急銃猟マニュアルの作成を進めており、今後は南越前町での訓練内容や緊急銃猟マニュアルを基に、関係機関と連携した訓練を実施し、緊急銃猟に備えたい。



うえの はじめ
上野 一



立地並み安全協定／国保基金で負担軽減



世戸 玉枝



問 美浜町に新しく原発を建てるための調査が始まった。40年がたったら廃炉にして、ふるさととは更地にして返されるという将来図はなくなった。小浜市は美浜原発からおおむね30キロ圏内のUPZ（緊急防護措置を準備する必要がある区域）内にあるのに、老朽原発の稼働、使用済み核燃料の始末、美浜町での新型炉の建設に一つの意見も言えないのは納得できない。小浜市は、立地並みの安全協定を得るため、これまでのような行動をされたか。

答 安全協定の見直しには県の協力が必要不可欠であるため、令和7年11月、県への重要要望において、「安全協定の見直しには県・立地市町の同意が必要であることから、県は安全協定の見直しについて協力すること」と要望したところである。

問 国民健康保険税は、余れば被保険者に次の保険税に反映することで返していかなければならない。しかし、不測の事態に備えて、ある程度の金額は必要である。それが国民健康保険基金だ。小浜市は、被保険者の負担軽減のため、積極的に基金を活用すべきと思うが、現在の基金の残高は。また、その残高は適正か。

答 令和6年度末の基金残高は、約3億1000万円である。2年ごとの税率改定の際に、保険税額の上昇を抑えるため、計画的に活用している。改定のない年にも保険税収入の不足分に充てている。加えて、災害等による収納率の低下にも対応できるように計画しており、必要な金額を確保できていると考えている。

産後ケア事業／市に必要な財源とは



武長 由里子



問 ふるさと納税の寄付者と継続的な交流を図る取り組みと、今後の関係人口拡大に向けた新たな施策は。

答 現地決済型ふるさと納税の仕組みの導入や体験型のプログラム、地域資源を生かしたツアー等の返礼品の充実を図る。

問 令和6年度ふるさと納税寄付金の使い道は。「御食国 食の学校」やおばま創業促進事業、すみずみ子育てサポート事業、まちづくり協議会への交付金による支援、コウノトリの郷づくり事業、若狭マリリンピア花火大会の開催、小浜縦貫線の整備等、地域のさまざまな取り組みに活用している。

答 令和6年度ふるさと納税寄付金の使い道は。「御食国 食の学校」やおばま創業促進事業、すみずみ子育てサポート事業、まちづくり協議会への交付金による支援、コウノトリの郷づくり事業、若狭マリリンピア花火大会の開催、小浜縦貫線の整備等、地域のさまざまな取り組みに活用している。

問 本市において、現在どのような産後ケア事業を行っているか。

答 通所型産後ケアと訪問型産後ケアとを実施している。

問 産後ケア事業の利用料金について、減免制度はあるか。

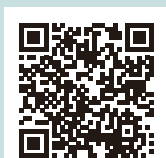
答 生活保護世帯は無料としている。今年度から、通所型の5時間利用料金を3000円から13000円に、3時間利用料金を2000円から9000円に、訪問型の利用料金を1000円から5000円に引き下げた。

問 本市において、宿泊型（ショートステイ型）産後ケアを導入する考えはあるか。

答 今後、宿泊型のニーズを把握する中で、市外施設の利用も含め、実施の可能性について検討していきたい。

ホームページをご覧ください

議会で審査する議案や採決結果、次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後2週間程度で視聴できます）など、さまざまな情報を発信しています。



■本紙記事の誤りについて

おばま市議会だより185号（令和7年10月24日発行）の記載内容に、次のような誤りがありました。
ここにおわびします。

【誤りの内容】

掲載箇所

6ページ「市政を問う！一般質問」

武長由里子議員

「消費者問題／学校給食無償化について」

誤っていた内容…問

令和7年3月に国会で学校給食無償化の予算が成立したが、小浜市の実施時期は。

成立した国の令和7年度予算には、学校給食費の無償化を実施するための直接の費用は計上されていませんでした。

子どもの貧困の解消に向けた対策を



まきおか てるお
牧岡 輝雄



問 少子化が進む中、全ての子どもが健やかに育つ環境を整えることは、自治体に課せられた最重要課題の一つである。コロナ禍を経て、生活困窮、学習格差、子どもの孤立など、新たな貧困のリスクが顕在化しているが、これらに對し、どのように支援を行っているのか伺う。

答 子どもの貧困に関する相談では、コロナ禍での減収や失業による生活困窮の相談が多かった。その後は、相談人数はやや減少傾向にあるものの、物価高騰に伴う相談が増加している。ひとり親世帯からは、医療費助成や児童扶養手当等の相談が多い。市では、経済的支援に加え、就学支援、資格取得支援などの就労支援、相談支援を行っている。また、小・中学生の子のいる、経済的に厳しい家庭には、給食費、学用品費、修学旅行費用等についても支援している。

問 デジタル格差・学習格差への具体策を伺う。

答 要保護・準要保護世帯に対してオンライン学習の通信費を支援するとともに、充電機器を各学校に配り、貸し出しできる体制を整えた。今後、家庭の状況にかかわらず、児童・生徒が効率的かつ効果的に学習できる環境整備に取り組む。

問 長期的な視点での貧困対策の方向性は。

答 貧困を解消し、貧困の連鎖を断ち切ることを子ども施策の重要事項に位置付け、身近な存在である地域団体等との連携を進める。福井県こども子育て応援計画を踏まえ、切れ目のない支援を社会全体で持続的に実施するための計画作りや取り組み方法等を検討していく。

山間集落に AED の設置を！



いけだ ひでゆき
池田 英之



問 令和8年度当初予算編成に当たり、市長の所信を伺う。

答 第一は、全事業をゼロベースで見直すこと。第二は、御食国若狭おばまブランド戦略を着実に推進するため、関係部課が連携して重点施策に取り組むことを職員に指示した。

問 厳しい財政状況での予算編成を市民の皆さまにどのように説明するのか。

答 各種団体や市民の皆さまにご不便をお掛けする場合には、担当の職員が説明した上で協議を行い、ご理解いただきながら事業を進める。

問 JR小浜線の利用者が減少している要因は。

答 少子化による、通学などの利用人口の減少、マイカーの普及、待ち時間の長いダイヤ設定など、多くの要因がある。

問 地域公共交通の根幹としてのJR小浜線を、住民の理解を得ながら、どのように守っていくか。

答 各種利用助成制度等により日常利用を一層促進し、利用促進イベントの実施などによる機運醸成に取り組む。

問 公共施設におけるAEDの設置状況は。

答 市役所庁舎をはじめ、健康管理センター、各地区コミュニティセンターなど、計48施設に設置している。

問 ガイドラインでは、山間部などでのAEDの設置が求められている。設置を検討すべきでは。

答 地域から要望があった場合は、国・県補助制度の有無、自主防災組織や消防団、自治会等と費用負担等の在り方について協議する。

議会活動日誌

10月

- 8 (水) 議会運営委員会
 - 14 (火) 全員協議会、広報委員会
 - 15 (水) 福井県市議会議長会による中央要望(東京都内)、行政視察受け入れ(東京都八王子市)
 - 16 (木) 行政視察受け入れ(岐阜県中津川市)
 - 17 (金) 議会運営委員会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
 - 18 (土) 川越まつり(埼玉県川越市) 19日
 - 21 (火) 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会(福井市)
 - 22 (水) 嶺南市町議長会による福井県議会要望(福井市)
 - 23 (木) 議会報告会(松永・遠敷・今富・口名田)
 - 24 (金) 福井県市町議会議員合同研修会(福井市)
 - 25 (土) 御食国若狭おばま杯ソフトバレーボール大会開会式・交流レセプション
 - 28 (火) 行政視察受け入れ(長崎県)
 - 29 (水) 小浜商工会議所会頭就任議員懇親会、嶺南広域行政組合議会管外視察(富山県富山市および南砺市)
 - 30 (木) 議会運営委員会、小浜市戦没者追悼式、行政視察受け入れ(福岡県朝倉市)
 - 31 (金) 議会報告会(小浜・西津・内外海・宮川)
- ### 11月
- 1 (土) 小浜男女共同参画のつどい
 - 3 (月) 小浜市表彰式
 - 5 (水) 議会運営委員会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
 - 7 (金) 嶺南市町議長会による福井県要望(福井市)
 - 8 (土) 小浜市総合文化祭短歌大会および表彰式
 - 10 (月) 全員協議会
 - 11 (火) 行政視察受け入れ(高知県南国市)
 - 12 (水) 議会運営委員会
 - 13 (木) 議会報告会(雲浜・国富・中名田・加斗)、行政視察受け入れ(沖縄県金武町)
 - 14 (金) 福井県市議会議長会議員研修会(鯖江市)

産後ケアの体制強化を



浦谷 梨華子



問 通所型産後ケアについて、事業開始から年度ごとの利用件数の推移は。

答 令和2年度が15件、3年度が6件、4年度が12件、5年度が26件、6年度が16件であった。7年度からは市外の施設も利用可能となり、それらを含めて10月末時点で31件であり、特に今年度は大幅に増加している。

問 キャンセル待ちの発生状況について伺う。
答 事業の委託先である「わかさ助産師会」へ確認したところ、「令和7年10月に、利用の希望が重なったことから、3件のキャンセル待ちが発生した」との報告を受けたところである。

問 産後ケア事業の需要が高まっていると思うが、市として今後どのような支援ができるか、考えを伺う。

答 近年の核家族化や地域のつながりの希薄化等を背景に、母子の心身の健康を支える産後ケア事業の需要が年々高まっているものと認識している。本市としては、今後も受け入れ人数の拡大や予約体制の改善など、利用しやすい向上に向けて委託先と協議を進めるとともに、母子保健に関わる地域団体とも連携し、母親同士の交流や、食育による健康づくりの取り組みを積極的に展開するなど、出産後の心身の不調や育児不安の解消に向けた支援体制の強化に努めていく。



住宅密集地火災への危険意識の向上を！



東野 浩和



問 大分市の住宅密集地において大規模火災が発生したが、あのような火災が起こり得る危険な住宅密集地は、本市のどの地区か。

答 小浜地区、雲浜地区、西津地区の一部などが大分市の現場と類似しており、若狭消防組合では被害拡大の危険性がある地域としている。

問 消防職員の体制と今後の対応は。

答 若狭消防組合では、より多くの消防ポンプ車が出動し、延焼防止を図ることとしている。また、大分市の事例を受け、強風下での火災への警戒態勢を一層強化する。

問 大規模火災に備えた応援体制は。

答 若狭消防組合では、県内の他の消防組合等との相互の応援協定を、県外の近隣自治体の消防組合とも広域的な協定を結んでいる。

問 消防団の体制は。

答 危険性のある地区は、第1分団が所轄しており、団員数26人、消防ポンプ車2台が配備されている。また、火災の状況によって、他の分団が応援出動する体制を取っている。

問 住宅密集地における消防水利の確保は。

答 地区内には、消火栓や防火水槽に加え、水源となる海や川があり、おおむね確保できている。

問 避難行動要支援者の避難体制は。

答 危険性のある3地区における個別避難計画は、市全体の作成率よりもやや低いため、作成率向上に努めていく。

問 今後の火災予防対策は。

答 火災を起こさない心掛けが極めて重要であり、住民の防火意識向上に努めていく。

26	(金)	公立小浜病院組合議会	16	(日)	高浜町制施行70周年記念式典(高浜町)
24	(水)	議会報告会連絡会、嶺南広域行政組合議会定例会(敦賀市)	17	(月)	福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会による中央要請(東京都内)、嶺南広域行政組合議会代表者会議
23	(火)	広報委員会	18	(水)	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会による福井県・滋賀県要望(市内、滋賀県大津市、若狭消防組合議会管外視察(滋賀県長浜市および米原市))
22	(月)	若狭消防組合議会臨時会、若狭広域行政事務組合議会定例会(若狭町)	19	(水)	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会による福井県・滋賀県要望(市内、滋賀県大津市、若狭消防組合議会管外視察(滋賀県長浜市および米原市))
18	(木)	令和7年第4回小浜市議会定例会、議会運営委員会、予算決算常任委員会、総務民生常任委員会、全員協議会	20	(木)	議会運営委員会
17	(水)	議会運営委員会	21	(金)	全員協議会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
16	(火)	若狭広域行政事務組合議会代表者会議(若狭町)	22	(土)	若狭消防組合議会臨時会、若狭広域行政事務組合議会定例会(若狭町)
15	(月)	令和7年第4回小浜市議会定例会、各派代表者会	23	(日)	若狭消防組合議会臨時会、若狭広域行政事務組合議会定例会(若狭町)
12	(金)	令和7年第4回小浜市議会定例会、各派代表者会	24	(月)	若狭消防組合議会臨時会、若狭広域行政事務組合議会定例会(若狭町)
11	(木)	令和7年第4回小浜市議会定例会、議会運営委員会、全員協議会	25	(火)	株式会社ケーブルテレビ若狭小浜役員会、公立小浜病院組合議会
10	(水)	原子力発電小浜市環境安全対策協議会	26	(水)	令和7年第4回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報委員会
9	(火)	公立小浜病院組合議会常任委員会	27	(木)	令和7年第4回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報委員会
5	(金)	小浜市防犯隊年末警戒出動式	28	(金)	令和7年第4回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報委員会
3	(水)	産業教育常任委員会・分科会	29	(土)	令和7年第4回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報委員会
2	(火)	総務民生常任委員会・分科会	30	(日)	令和7年第4回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、広報委員会

◆12月

令和7年第4回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件 名
報告	議会の委任による専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）
予算	令和7年度小浜市一般会計補正予算（第4号）
	令和7年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
	令和7年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	令和7年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
	令和7年度小浜市下水道事業会計補正予算（第2号）
	令和7年度小浜市一般会計補正予算（第5号）
	令和7年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
	令和7年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
	令和7年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
	令和7年度小浜市水道事業会計補正予算（第2号）
	令和7年度小浜市下水道事業会計補正予算（第3号）

項目	件 名
条例	小浜市活性化基金条例の一部改正について
	小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業ならびに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例および小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	小浜市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	小浜市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について
	小浜市働く婦人の家設置および管理に関する条例の一部改正について
	小浜市火入れに関する条例の一部改正について
	御食国若狭おばま食文化館の設置および管理に関する条例の一部改正について
	小浜市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
	小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
市会案	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について
その他	小浜市町並みと食の館の指定管理者の指定について
人事	教育委員会委員の任命について（中森 一郎さん）

議会を傍聴しませんか？ ～3月定例会の予定～

次の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合の良い時間に、ぜひお越しください。

- 2月17日（火） 本会議・予算決算常任委員会（令和7年度3月補正予算）
- 19日（木） 本会議・予算決算常任委員会
- 20日（金） 産業教育常任委員会・分科会調査（令和8年度当初予算ほか）
- 24日（火） //
- 25日（水） 総務民生常任委員会・分科会調査（令和8年度当初予算ほか）
- 26日（木） //
- 3月16日（月） 本会議（一般質問）
- 17日（火） //
- 18日（水） 予算決算常任委員会
- 24日（火） 本会議

※状況に応じて変更が生じる場合があります

●こんな寄付は禁止されています

議員が選挙区内の人や団体に寄付をすることは、公職選挙法で禁止されています。
禁止されている例として、次のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行などの催し物への差し入れ
- 祭りや地域の行事、運動会への寄付や差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪や供花

- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
 - 出産・入学・卒業・就職等の祝い金や祝い物
 - お中元やお歳暮
 - 年賀状・暑中見舞いなどのあいさつ状（答礼のための自筆のものを除く）
- 議員に寄付をするよう勧めることもいけません。議員に金品を贈ることも禁止されていますので、皆さまのご理解をお願いします。

主催：小浜市議会

参加者を大募集！

議場見学ツアー in 小浜市議会

普段は入ることのできない議場を見学することができる、またとない機会です。
市議会の雰囲気一度味わってみませんか。

5階からの景色を眺めるだけでも行く価値あり！



小浜湾を見晴らせるロケーション



市議会の仕組みを分かりやすくご案内

募集要項

実施
日時

平日の午前10時から午後5時
(最終受付：午後4時15分)
定例会会期中などを除きます

実施
内容

市議会の仕組みの説明、市議会クイズ
5階フロアの見学、記念撮影など
所要時間は、30分から45分程度

場所

小浜市役所 5階 議場ほか

申し込み
締め切り
・方法

原則として実施日の2週間前までに
次のいずれかの方法で申し込む
電話・FAX・メール・電子申請

参加
対象

市内に在住、在学または在勤する人
を含む3人以上のグループ
小学生以下の人は保護者同伴

詳しい
募集要項、
申し込みは
こちらから
▼



開催しました

皆さまのご意見を議会活動に反映します

参加者アンケートで頂いたご意見の一部を紹介します

※ご意見は、一部要約させていただいています

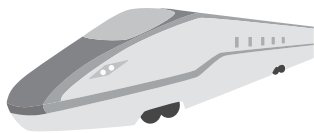
●北陸新幹線小浜・京都ルートについて

小浜・京都ルートで一日も早く開業を

- 私が生きている間にぜひ通してほしい。
- 早期の開業をお願いしたい。
- 小浜・京都ルートは、国策として必要だと思う。
- 京都市会や京都の市民団体等が小浜・京都ルートに反対しているとの報道がある。ぜひ市議会ならではの太いパイプを活用し、京都の説得に動いてほしい。

開業機運を盛り上げ、まちの魅力アップを

- 市民の盛り上がりが少ないように感じる。開業に向けて心を一つにし、市民・団体・行政が協力し合えるとよいと思う。
- 新幹線が開業しても、小浜が魅力あるまちでなかったならば、下車する人は見込めないと思う。



●地域公共交通の今後について

交通困難者への支援を

- ひとり暮らしで移動手段がない人が増えてきている。通院や買い物のために自由に移動することができるよう、高齢者に優しい支援をお願いしたい。
- あいあいバスは、「公共」とうたっている以上、費用対効果ばかりを重視するのはよくないのではないか。民間のタクシーのみで市民の移動手段を確保できるとは思えない。持続可能な交通という意味でも、あいあいバスの存続は大切だと思う。

利便性の向上と新たな制度設計を

- あいあいバスは、利用者のニーズに合った運行になるよう改善すべき。運行ルート、時間などについて再考が必要だと思う。
- 年を取り、自分で運転できなくなったときのために、デマンド交通をもっと利用しやすくしてほしい。

報告書が完成しましたら、各コミュニティセンターに届けるとともに、議会のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

編集後記

市議会では現在、これまで二つあった特別委員会を北陸新幹線早期全線開業特別委員会の一つに絞って、議会が一丸となって早期全線開業に向けて取り組みることとなりました。私のように新たに加わった委員がいるため、研修を実施する予定です。

議会報告会でも、「新幹線の早期全線開業にどう取り組んでいるのか」との質問を受けました。議会だよりでも、今までのように「要望に行った」という記事掲載するだけではなく、議員として学んだことや協議した内容を市民の皆さまと共有できるような、分かりやすく親しみやすい記事の作成を心掛けてまいります。

広報委員会
委員 世戸 玉枝



議会報告会を

●「開かれた議会」を目指して

市民の皆さまに市議会の活動をお伝えするとともに、日々の暮らしや市政についてのご意見を伺うため、議会報告会を開催しました。
たくさんのご参加、ありがとうございました。



今富地区での報告会の様子（10月23日）

開催概要

開催日：令和7年10月23日（木）
10月31日（金）
11月13日（木）

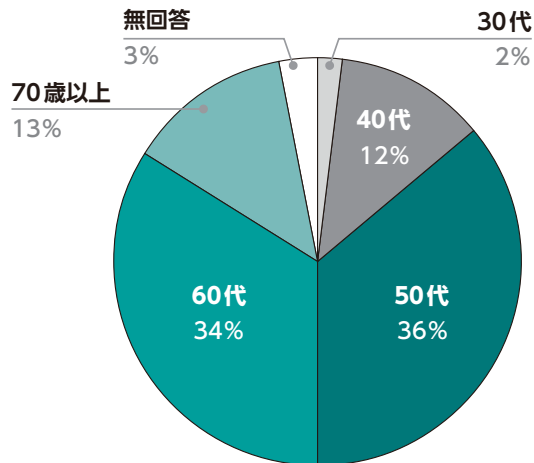
会場：各コミュニティセンター

参加人数：合計247人

内容：①北陸新幹線小浜・京都ルートについて
②地域公共交通の今後について
③意見交換

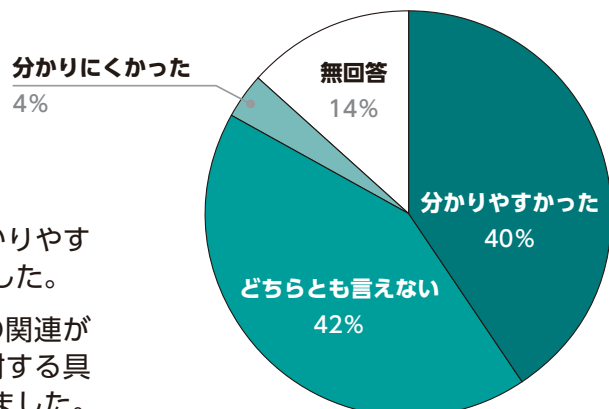
●アンケート結果

◎ 参加者の年代



- 20代以下の参加はなく、50代と60代の参加者が全体の約7割を占めました。

◎ 議会報告会の評価



- 令和6年度の議会報告会と比較して、「分かりやすかった」との回答が約7ポイント増加しました。
- 分かりにくかった点として「説明と資料の関連が分かりにくい」「資料が見つづらい」「質問に対する具体的な回答がなかった」とのご意見を頂きました。

議会の取り組みを紹介します

市議会では、市民と共に歩む開かれた議会を目指し、以下のことに取り組んでいます。議会の活動や市政をもっと身近に感じてもらえるよう、取り組みを進めてまいります。

▶ 本会議のテレビ中継

本会議の様子はチャンネルO（092チャンネル）で放送しています。
放送時間は、次のとおりです。

生中継：本会議開始時刻（午前10時）から

再放送：本会議当日の午後7時から

※都合により、
変更になる可能性があります

▶ 会議録の公開

本会議で行われた審議内容を文字として記録した会議録をホームページで公開しています。

会議録には、発言者の氏名や発言内容、採決の結果などが詳細に記載されます。

会議録は正確を期する必要があるため、作成に長期間を要していますことをご了承ください。



▶ 議案書の公開

議会で審査する議案書を市議会と市のホームページで公開しています。

議案書は、定例会開会の約5日前までに公開します。



▶ 議会映像の録画配信

本会議の録画映像を、ホームページ上で配信しています。

本会議終了後2週間程度で視聴できます。



▶ 議長交際費支出状況の公開

議長交際費とは、議長が議会の代表として、対外的な活動をするために必要な経費のことをいいます。

支出状況は、ホームページで公開しています。



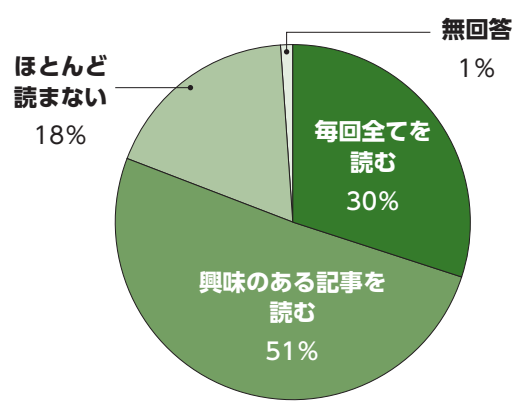
▶ 政務活動費収支報告書の公開

政務活動費とは、議員が調査研究や政策立案、広報活動などを行うために、市から交付される費用です。月2万円を上限として、後払い制で交付しています。

直近5年度分の収支報告書は、ホームページで公開しています。



Q 議会だよりを読んでいますか (回答数:231人)



議会報告会にご参加いただいた皆さまに、議会だよりについてのアンケートにご協力いただきました。集計の結果、約8割の方が議会だよりを読んでいます。特に、「市政を問う！一般質問」の記事に興味を持ってくださっている方が多いように見受けられます。議会の情報をより分かりやすくお伝えできるよう、工夫を凝らしてまいります。今後ぜひご覧ください。

議会だよりアンケートを実施しました